

<b>高等学校</b> <b>東京都</b> <b>練馬区</b>	<b>農山漁村</b> <b>長崎県</b> <b>対馬市</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	5泊6日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、奉仕、職業観(農)、文化芸術、交流

1. 学校名：武蔵高等学校中学校（住宅地区・男子校・中高の全生徒数1,000名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：2018年度総合的な学習の時間「国境の島「対馬」を体験する」

4. 学年・人数・期日・宿泊先

- (1) 学年・人数：第1学年・4名（募集参加型）
- (2) 期日：平成30年8月16日（木）～8月21日（火）5泊6日
- (3) 宿泊先：農家民泊（ホームステイ）4泊、ペンション1泊

5. ねらい

- (1) 年間を通して対馬に関するテーマ研究を行い、持続可能な社会をどのように考えればよいのかを学び合う。
- (2) 集落に入ることによって、現代的な課題である過疎や高齢者の問題だけでなく、自然環境の変化によって受ける生活への影響などについても、体験的に学ぶ。
- (3) 家庭や集落の一員となることによって、自分の家族からは得られない生活・文化などを学びつつ、協働して生活をしてゆく姿勢を学ぶ。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
6時				起床・朝食		
7時		起床 朝食	起床 朝食	農家民泊発	起床 朝食	起床 朝食
8時	羽田空港発				民泊家庭とのお別れ	
9時	移動(飛行機)	農家民泊発	農家民泊発			ペンション発
10時	博多空港着	対馬市中対馬振興部地域振興課「渡海船」に関する聞き取り調査	清水山城・金石城の調査	上対馬での実習 ・結石山の見学 ・ツシマヤマネコ保護活動の見学・調査(対馬野生生物保護センター)		城山(金田城)の登山
11時	昼食				内山での実習(島おこし実践塾入門編の参加)	烏帽子岩・海神社の見学
12時	博多港発	昼食	昼食		・龍良山トレッキング	昼食(ソバ道場)
13時	移動(船)	赤米神事保存会「対馬における赤米神事」に関する聞き取り	農家民泊着	・昼食 ・志多留で担当者の聞き取り ・現地見学		
14時	厳原港着		民泊先での実習		・基礎講義の聴講	
15時	対馬観光物産協会への訪問				・鮎尻公園・八丁郭の見学	
16時	農家民泊着	農家民泊着	民泊家庭との交流			対馬空港発
17時	民泊家庭との交流	民泊家庭との交流		農家民泊着 民泊家庭との交流		移動(飛行機) 福岡空港着
18時	夕食	夕食	夕食	夕食	ペンション着	
19時	入浴	入浴	入浴	入浴	夕食	移動(飛行機)
20時					入浴	羽田空港着
21時～	就寝:農家民泊(長崎県対馬市)	就寝:農家民泊(長崎県対馬市)	就寝:農家民泊(長崎県対馬市)	就寝:農家民泊(長崎県対馬市)	就寝:ペンション(長崎県対馬市)	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：ツシマヤマネコ保護活動の見学・調査
- (2) 奉仕：地区の清掃活動
- (3) 職業観：農業従事者へのヒアリング、農家での就業体験
- (4) 文化芸術：対馬における赤米神事に関する聞き取り
- (5) 交流：農家民泊の家族や対馬市で活躍する地域おこし協力隊等との交流



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		島おこし協働隊による現地活動のサポート	島おこし協働隊(OB・OGを含む)
情報面の支援		地域課題解決のテーマ学習に即した人材の紹介	(一社)対馬観光物産協会
		対馬市における地域資源やプログラムの紹介	
		テーマ学習・実習先に関する資料等の提供	
		「対馬市島おこし実践塾」(対馬市主催)の紹介	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 対馬グリーン・ブルーツーリズム協会 (一社)対馬観光物産協会 (一社)MIT 対馬市しまの力創生課
		教員による下見の協力	
		テーマ学習・実習先の手配	
		生徒によるテーマ別研究の協力(各種情報の提供等)	
		対馬市内での食事・体験・見学・現地指導者の手配	
		荒天時の代替プログラムの用意	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導の協力	
		各活動場所の移動・案内	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・本校では教員が農家民泊先を選定しているが、事前に農家民泊に関する情報を提供してもらえた。
- ・テーマ学習の実施に向けて地域課題解決に即した人的資源やプログラムを紹介してもらえた。
- ・「対馬市島おこし実践塾」(対馬市主催)に本校の生徒が参加させてもらえた。
- ・受入先が対馬市外(島外)から受け入れているインターン生等との交流を行うことができた。

### 【主な農山漁村体験の受入先】

対馬グリーン・ブルーツーリズム協会(長崎県対馬市)

住 所 長崎県対馬市上県町志多留 307

TEL 0920-85-1755 URL <http://tsushima-gbt.com/>

<b>高等学校</b> <b>長崎県</b> <b>長崎市</b>	<b>農漁村</b> <b>長崎県</b> <b>新上五島町</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（漁）、交流

1. 学校名：精道三川台中学高等学校（住宅地区・男子校・全校生徒数 56 名）

2. 宿泊体験の位置付け：インターンシップ

3. 活動名：就業前研修

（※長崎県による「高校生等を対象にした漁業就業促進に向けた研修」への参加）

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第1学年・2名（募集参加型）

（2）期日：平成30年1月23日（火）～1月26日（金）3泊4日

（3）宿泊先：民宿3泊

5. ねらい

沿岸漁業への就業予定または希望者を対象とした漁業就業への理解の醸成と必要な漁業技術の習得等による沿岸漁業への就業促進（就業に必要な漁業技術の習得、青年漁業者との交流、漁業実態の学習等の実施）

	1日目	2日目	3日目	4日目
5時		起床 朝食 民宿発	起床 朝食 民宿発	
6時				起床 朝食 民宿発
7時		漁業研修：定置漁業・魚類 養殖（施設見学、網揚げ・活 け作業、水揚げ、網洗浄 ・修理等）	漁業研修：定置漁業・魚類 養殖（網揚げ・活け作業、 水揚げ、網洗浄・修理等）	移動（車） 上五島町漁協・長崎県上五 島水産業普及指導センター の訪問
8時				
9時				
10時				鯛ノ浦港発
11時	出発 移動（バス） 長崎港	昼食	昼食	移動（船）
12時				長崎港着
13時	移動（船） 鯛ノ浦港着	漁業研修：定置漁業・魚類 養殖（施設見学、網揚げ・活 け作業、水揚げ、網洗浄 ・修理等）	漁業研修：定置漁業・魚類 養殖（網揚げ・活け作業、 水揚げ、網洗浄・修理等）	移動（バス）
14時				到着
15時	移動（車） 長崎県上五島水産業普及 指導センター・上五島町漁 協の訪問			
16時	移動（車） 研修者・指導者の顔合わせ	民宿着	民宿着	
17時				
18時	民宿着 夕食	夕食	夕食	
19時				
20時	入浴	入浴	入浴	
21時 ～	就寝：民宿 （長崎県新上五島町）	就寝：民宿 （長崎県新上五島町）	就寝：民宿 （長崎県新上五島町）	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：漁業研修（定置漁業・魚類養殖：施設見学、網揚げ・活け作業、水揚げ、網洗浄・修理等）
- (2) 交流：研修先の漁業者・指導者、民宿の家族



※上の画像は平成 30 年度の活動の様子

## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		漁業研修先の担当	(有)祥福水産
		研修指導の担当	長崎県五島振興局上五島水産業普及指導センター
経費的支援		交通費・宿泊費の支出 (長崎県「高校生等を対象にした漁業就業促進」事業)	長崎県水産部水産経営課
情報面の支援		漁業研修や滞在先等に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	(有)祥福水産
		生徒による本活動の計画策定の協力	長崎県水産部水産経営課
		宿泊・食事・研修内容・用具・移動手段等の手配・用意	
		漁業研修の指導者の手配	
		現地での緊急連絡体制・災害発生時対策の用意	
		アレルギー等を抱える各生徒の配慮の用意	
	活動中	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	長崎県五島振興局上五島水産業普及指導センター
		各活動場所の移動・案内	
		アレルギー等を抱える各生徒の配慮	
		現地での緊急連絡体制の設置	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・実際の漁業の作業をしたことで進路実現に向けて参考になる取り組みになった。
- ・生徒にとって普段の生活では見えない現場の辛さや喜びを感じることができた。

### 【主たる農山漁村体験の受入先】

(有)祥福水産（長崎県新上五島町）

住所 長崎県南松浦郡新上五島町今里郷 195-12

長崎県水産部水産経営課（長崎県長崎市）

住所 長崎県長崎市尾上町 3-1

<b>高等学校</b> <b>秋田県</b> <b>大仙市</b>	<b>農村</b> <b>青森県青森市</b> <b>北海道音更町</b>	農山漁村	滞在期間	13泊14日
		体験活動	受入先の分類	その他
		の要点	体験の分類	職業観（農・畜）

1. 学校名：秋田県立大曲農業高等学校（農山村地区・共学・全校生徒数 516 名）

2. 宿泊体験の位置付け：インターンシップ

3. 活動名：長期インターンシップ（※文部科学省 S P H 研究の一環）

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 1～2 学年・2 名（募集参加型）

(2) 期日 ① 1 名：平成 28 年 7 月 25 日（月）～8 月 7 日（日）青森県青森市 13 泊 14 日

② 1 名：平成 28 年 8 月 22 日（月）～9 月 4 日（日）北海道音更町 13 泊 14 日

(3) 宿泊先：各受入農家 13 泊

5. ねらい

(1) 農業現場に対する興味・関心を高め、専門的な知識と技術の習得を目指す。

(2) 作物栽培に向けた取り組みと農場経営について学習する。

【青森県青森市 13 泊 14 日の行程】

	1 日目	2～13 日目	14 日目
6 時		起床	起床・朝食
7 時			受入農家発
8 時		(株)豊川農産での就農体験 (インターンシップ)	矢田前駅発・移動(鉄道)
9 時	大曲駅発	【主な体験内容】	新青森駅乗換
10 時	移動(鉄道)	・水稻の草刈り作業	盛岡駅乗換
11 時	盛岡駅乗換	・農業機械展示会の見学	大曲駅着
12 時	新青森駅乗換	・地域農業ネットワークへの参加	
13 時	移動(鉄道)・昼食(車内)	・地元の郷土芸能(ねぶた)の鑑賞	
14 時	矢田前駅着	・ライオンズクラブ定例会への出席	
15 時	受入先との合流(オリエンテーション)	途中、朝食・昼食	
16 時		作業終了	
17 時	受入農家着	受入農家着	
18 時	夕食	夕食	
19 時	入浴	入浴	
20 時	入浴	入浴	
21 時	就寝:受入農家(豊川農産)	就寝:受入農家(豊川農産)	

【北海道音更町 13 泊 14 日の行程】

	1 日目	2～13 日目	14 日目
6 時		起床	起床・朝食・受入農家発
7 時			
8 時		阿部牧場での就農体験 (インターンシップ)	移動(高速バス)
9 時		【主な体験内容】	南千歳駅発
10 時	秋田空港発	・乳牛の給餌	移動(鉄道)
11 時	移動(飛行機)	・野菜畑の除草作業	新千歳空港発・移動(飛行機)
12 時	新千歳空港駅発		秋田空港着
13 時	移動(高速バス)		
14 時	移動(路線バス)	随時、朝食・昼食	
15 時		作業終了	
16 時	移動(路線バス)	受入農家着	
17 時		夕食	
18 時	受入先との合流(オリエンテーション)	入浴	
19 時	受入農家着	入浴	
20 時	夕食・入浴	入浴	
21 時	就寝:受入農家(阿部牧場)	就寝:受入農家(阿部牧場)	

## 6. 実施した農山漁村体験

### (1) 職業観

#### ①受入農家（青森県青森市）での就農体験

： 水稲の草刈り作業、農業機械展示会の見学、地域農業ネットワークへの参加

#### ②受入農家（北海道音更町）での就農体験

： 乳牛の給餌、野菜畑の除草作業



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		就農体験での指導者の提供	(株)豊川農産(青森県青森市) 阿部牧場(北海道音更町)
経費的支援		交通費の経費負担(文部科学省SPH研究)	文部科学省
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 (株)豊川農産(青森県青森市) 阿部牧場(北海道音更町)
		実習内容・受入体制等に関する情報提供	
		受入農家先での食事・宿泊・実習・用具等の手配	
	活動中	就農体験での指導	
		食事・宿泊・入浴の提供	
		現地での移動	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 生徒が希望する先進的な知識と技術の習得をかなえることができた。
- ・ 農業経営に係る知識の習得を望む取組を行うことができた。

### 【農山漁村体験の受入先】

(1) 受入農家：(株)豊川農産(青森県青森市)

(2) 受入農家：阿部牧場(北海道音更町)

<b>高等学校</b> <b>茨城県</b> <b>那珂市</b>	<b>農山村</b> <b>鹿児島県</b> <b>中種子町</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	8泊9日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（農）、文化芸術、交流

1. 学校名：茨城県立水戸農業高等学校（農山村地区・共学・全校生徒数 868 名）

2. 宿泊体験の位置付け：農業実習

3. 活動名：平成 30 年度第 3 回種子島農業実習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 1～3 学年・16 名（募集参加型）

(2) 期日：平成 30 年 7 月 30 日（月）～8 月 8 日（水）9 泊 10 日

(3) 宿泊先：農家（ホームステイ・分泊）8 泊、鹿児島市内（ホテル）1 泊

5. ねらい

種子島の農畜産業の専業農家にて農業体験実習を行い、勤労精神を養うとともに、種子島の風俗文化に接し健全なる心身の育成を図る。また、将来の農業後継者育成事業の一環として就農従事者の育成を目的として、種子島農業実習を通して得られた経験を今後の農業教育に生かす。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
6 時	学校集合・出発	起床	起床	起床	起床
7 時		受入農家発	朝食	受入農家発	受入農家発
8 時	移動(バス)		受入農家発		
9 時	羽田空港発	受入農家での各実習	流水プール体験	受入農家での各実習	受入農家での各実習
10 時		【農業】	【自然体験】	【農業】	【農業】
11 時	移動・昼食(飛行機)		昼食		
12 時		随時、朝食・昼食	薬用植物資源研究センターの見学【生物】	随時、朝食・昼食	随時、朝食・昼食
13 時	鹿児島空港着		製糖工場の見学		
14 時	移動(バス)	作業終了	【食品製造】	作業終了	作業終了
15 時	鹿児島島港	受入農家着	移動	受入農家着	受入農家着
16 時	移動(高速船)	夕食	受入農家着	夕食	夕食
17 時	西之表港(種子島)着	入浴	入浴	入浴	入浴
18 時	受入式	就寝:受入農家	就寝:受入農家	就寝:受入農家	就寝:受入農家
19 時	受入農家着	(鹿児島県中種子町)	(鹿児島県中種子町)	(鹿児島県中種子町)	(鹿児島県中種子町)
20 時	夕食・入浴				
21 時	就寝:受入農家				
～	(鹿児島県中種子町)				
	6 日目	7 日目	8 日目	9 日目	10 日目
6 時	起床	起床	起床	起床・朝食	起床・朝食
7 時	受入農家発	朝食	受入農家発	受入農家発	ホテル発
8 時		受入農家発		終了式	移動(鹿児島県鹿児島市→宮崎県宮崎市)
9 時		中央公民館着	受入農家での各実習	西之表港(種子島)発	南九州大学の見学
10 時	受入農家での各実習	海ガメ研修会・海ガメ	【農業】	移動(高速船)	【進路指導】
11 時	【農業】	放流体験【生物】		鹿児島島港着	
12 時		バーベキュー体験	随時、朝食・昼食	仙巖園・桜島の見学	宮崎空港発
13 時	随時、朝食・昼食	【野外体験】、昼食		【自然体験】	移動(飛行機)
14 時		宇宙科学技術館の見学【地学】	作業終了		羽田空港着
15 時	作業終了	移動	受入農家着	ホテル着	
16 時	受入農家着	受入農家着	夕食	夕食	移動(バス)
17 時	夕食	夕食	入浴	入浴	学校着・解散
18 時	入浴	入浴	就寝:受入農家	就寝:ホテル	
19 時	就寝:受入農家	就寝:受入農家	(鹿児島県中種子町)	(鹿児島県鹿児島市)	
20 時					
21 時					
～					

※【 】内は当該活動を授業として位置付けた教科等を明記しています。

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：流水プール体験、海ガメ研修会・海ガメ放流体験、薬用植物資源研究センターの見学、バーベキュー体験、宇宙科学技術館の見学、仙巖園・桜島の見学
- (2) 職業観：受入農家での各実習、製糖工場の見学
- (3) 交流：受入農家の家族



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導者の手配(中種子町での見学・体験等)	中種子町役場農林水産課
		指導補助員の手配(受入農家での各実習)	中種子町内の受入農家
経費的支援		移動用バスの無料貸出	【農山漁村体験の受入先】 中種子町役場農林水産課
情報面の支援		中種子町の地域資源・体験・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	中種子町内の受入農家の手配(食事・宿泊・実習指導等)	
		中種子町内での見学・体験等の手配	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		中種子町内での緊急連絡対応の手配	
		中種子町内での災害時の対応の手配	
		中種子町での移動手段の手配(貸切バス・無料)	
活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	引率教員による指導への協力		
	中種子町の各活動場所への移動・案内		
	中種子町での緊急連絡体制の設置		
活動後		中種子町での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 農業後継者として意識を高めることができた。
- ・ 生徒の進路指導面で勉強になり、生徒自身が将来について深く考えることができた。

### 【農山漁村体験の受入先】

中種子町役場農林水産課（鹿児島県中種子町）

住 所 鹿児島県熊毛郡中種子町野間5186

TEL 0997-27-1111 URL <https://town.nakatane.kagoshima.jp/>



<b>高等学校</b> <b>茨城県</b> <b>那珂市</b>	<b>農山村</b> <b>北海道</b> <b>清水町</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	6泊7日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観（農・畜）、交流

1. 学校名：茨城県立水戸農業高等学校（農山村地区・共学・全校生徒数 868 名）

2. 宿泊体験の位置付け：農業実習

3. 活動名：平成 30 年度第 38 回北海道農業実習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 1～2 学年・5 名（募集参加型）

(2) 期日：平成 30 年 8 月 22 日（水）～8 月 29 日（水）7 泊 8 日

(3) 宿泊先：受入農家（ホームステイ・分泊）2 泊、ホテル 2 泊

5. ねらい

北海道の大規模酪農家、畑作農家にて農業体験実習を行い、勤労精神を養うとともに、北海道の風俗文化に接し健全なる心身の育成を図る。また、北海道農業実習をとおして得られた経験を今後の農業教育に生かす。

	1 日目	2～5 日目	6 日目	7 日目	8 日目	
6 時		起床	起床	起床	起床	
7 時	水戸駅発	受入農家発	朝食	朝食	朝食 準備	
8 時	移動(路線バス) 茨城空港発	各受入農家での農業 実習【農業】	受入農家発	ホテル発	ホテル発	
9 時	移動(飛行機)		閉講式・清水町発 移動(バス)	移動(バス)		
10 時	新千歳空港着 新千歳空港駅発		自然体験 (ラフティング)	酪農学園大学の見学	場外市場の見学 昼食	
11 時	移動・昼食(鉄道)		移動(バス)			
12 時	十勝清水駅着		随時、朝食・昼食	富良野市着	移動(バス)	二十四軒駅発 移動(鉄道)
13 時	移動			昼食	サツラク農業協同組 合の見学	新千歳空港着
14 時	開講式 移動(各受入農家)			移動(バス)	移動(バス)	新千歳空港発
15 時	各受入農家着 (ファームステイ)			四季彩の丘(美瑛町 の観光ガーデン)の 散策		
16 時	夕食の手伝い		作業終了 受入農家着	移動(バス)	札幌市着 大通公園の散策	羽田空港着 移動(鉄道)
17 時	夕食		夕食の手伝い 夕食	ホテル着		
18 時	受入家庭との団らん	受入家庭との団らん	夕食	夕食		
19 時	入浴	入浴	入浴		水戸駅着・解散	
20 時	就寝:受入農家	就寝:受入農家	就寝:ホテル	ホテル着 入浴		
21 時 ～	(北海道清水町)	(北海道清水町)	(北海道富良野市)	就寝:ホテル (北海道札幌市)		

※【 】内は当該活動を授業として位置付けた教科等を明記しています。

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：自然体験（ラフティング）、四季彩の丘（美瑛町の観光ガーデン）の散策
- (2) 職業観：各受入農家での農業実習、酪農学園大学・サツラク農業協同組合の見学
- (3) 交流：各受入農家との交流（ファームステイ）



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		清水町内の指導者の手配	清水町地域農業再生協議会
		清水町内の指導補助員の手配（農業実習体験）	清水町管内の受入農家
		指導者・指導補助者以外の人材に関する情報提供	清水町、JA十勝清水
情報面の支援		清水町の地域資源・受入農家・受入体制等に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】 清水町地域農業再生協議会
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案・調整・手配	
		清水町の受入農家の手配（食事・宿泊・農業実習の指導等）	
		清水町の指導者の手配	
	荒天時の代替プログラムの用意		
	清水町での緊急時・災害発生時の対応の用意		
	清水町での移動手段の手配		
	受入先による損害賠償責任保険の加入		
	アレルギーや発達障がい等を抱える各生徒の配慮の用意		
活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	引率教員による指導への協力		
	清水町内の各活動場所の移動・案内		
	アレルギーや発達障がい等を抱える各生徒の配慮		
活動後	清水町での緊急連絡体制の設置		
	清水町での諸費用の一括精算（精算手続きの簡素化）		
	農業実習体験での生産物等の送付		

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・北海道にて農業実習を行うにあたり、大規模農業を直に体験することができた。
- ・学校で学ぶ専門性を活かせることができた。
- ・生徒にとって将来的に農業の経営を行いたいと思う動機付けになった。

### 【農山漁村体験の受入先の紹介】

清水町地域農業再生協議会（北海道清水町） 窓口組織：清水町役場農林課

住 所 北海道上川郡清水町南4条2丁目2番地

TEL 0156-62-2112

高等学校 秋田県 秋田市	農山村 秋田県 大潟村	農山漁村 体験活動 の要点	滞在期間	9泊10日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（農）

1. 学校名：秋田県立金足農業高等学校（住宅地区・共学・全校生徒数 517 名）

2. 宿泊体験の位置付け：インターンシップ

3. 活動名：平成 29 年度農業高校生インターンシップ研修

※秋田県農業研修センターとの連携による長期インターンシップ

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 2 学年・4 名（募集参加型）

(2) 期日：平成 29 年 7 月 25 日（火）～ 8 月 10 日（木）9 泊 10 日

①女子 2 名、男子 1 名：7 月 25 日（火）～ 8 月 3 日（木）

②男子 1 名：7 月 25 日（火）～ 7 月 30 日（日）、8 月 7 日（月）～ 8 月 10 日（木）

(3) 宿泊先：受入農家（ホームステイ・分泊）9 泊

5. ねらい

農業高校在学中に県内農家等に滞在し、実際の農業体験を行うことにより、農業への理解を深めるとともに、将来の就農に向けた意識啓発を図る。

	1 日目	2～9 日目	10 日目
6 時		起床	起床
7 時			
8 時			
9 時	入村式（大潟村役場）	受入農家先での農業実習 ※受入農家その日に必要な農作業 (例) ・タマネギの出荷・調整作業 ・カボチャの収穫・調整・出荷作業 等	受入農家先での農業実習 ※受入農家その日に必要な農作業
10 時	移動（大潟村役場→受入農家）		途中、朝食・昼食（受入農家）
11 時	受入農家先での農業実習		
12 時	※受入農家その日に必要な農作業 (例) ・タマネギの出荷・調整作業 ・カボチャの収穫・調整・出荷作業 等		作業終了
13 時			
14 時		途中、朝食・昼食（受入農家）	出村挨拶
15 時	途中、昼食（受入農家）		
16 時	作業終了（終了時間：随時）	作業終了（終了時間：随時）	
17 時	受入農家着	受入農家着	
18 時	夕食	夕食	
19 時	入浴	入浴	
20 時	就寝：受入農家	就寝：受入農家	
21 時～	（秋田県大潟村）	（秋田県大潟村）	

## 6. 実施した農山漁村体験

職業観：受入農家先での農業実習

- ・タマネギの出荷・調整作業
- ・カボチャの収穫・調整・出荷作業等

※右の画像は平成 28 年度の活動の様子



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		農業実習を指導する受入農家の確保（情報提供・手配）	大潟村役場
経費的支援		秋田県による本活動経費の支援（実習委託料として）	秋田県農業研修センター
情報面の支援		受入農家先に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】 〈受入農家の手配等〉 大潟村役場産業建設課
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案	
		事前学習への人材派遣	
		受入農家の手配（食事・宿泊・実習・用具等）	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		現地での緊急時の対応の手配	
		現地での災害発生時の対応の手配	
		現地での移動手段の手配	
		保護者説明会への人材派遣	
活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	引率教員による指導への協力		
	現地での緊急連絡体制の設置		
活動後	諸費用の一括精算（精算手続きの簡素化）		

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・受入農家との連絡体制等の連携強化を図ることができた。
- ・受入農家と生徒に合わせた日程調整を柔軟的に行うことができた。

### 【農山漁村体験の受入先】

大潟村役場産業建設課（秋田県大潟村）

住 所 秋田県南秋田郡大潟村中央 1-1

TEL 0185-45-3653 URL <https://www.ogata.or.jp/>

<b>高等学校</b> <b>東京都</b> <b>港区</b>	<b>農山村</b> <b>福島県</b> <b>喜多方市</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観（農）、交流

1. 学校名：正則高等学校（商業地区・共学・全校生徒数 940 名）

2. 宿泊体験の位置付け：キャリア教育

3. 活動名：2018 年度体験学習・農業分野

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・66名（募集参加型）

(2) 期日：平成30年8月17日（土）～8月21日（火）3泊4日

(3) 宿泊先：農家民宿（ホームステイ・分泊）3泊

5. ねらい

2年生としての大きな学習テーマである、社会に目を向けるための学びの一つとしてこの体験学習を積極的に捉え、現地の出会いとそこでの体験や発見から「働く意味」を考え、これからの学びに生かす。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床	起床	起床
7時	学校発	朝食づくりのお手伝い	朝食づくりのお手伝い	朝食づくりのお手伝い
8時		朝食	朝食	朝食
9時	移動(バス)	午前の家事・農業体験 (家事や農作業等のお手伝い)	午前の家事・農業体験 (家事や農作業等のお手伝い)	午前の家事・農業体験 (家事や農作業等のお手伝い)
10時				昼食づくりのお手伝い
11時				昼食
12時	喜多方市着 昼食	昼食づくりのお手伝い 昼食	昼食づくりのお手伝い 昼食	移動(各農家民宿発)
13時	入村式・移動(班ごとに分散)			離村式
14時	各農家民宿着	午後の家事・農業体験 (家事や農作業等のお手伝い)	午後の家事・農業体験 (家事や農作業等のお手伝い)	
15時	家事・農業体験			移動(バス)
16時	(家事や農作業等のお手伝い)			
17時	夕食づくりのお手伝い 夕食	夕食づくりのお手伝い 夕食	夕食づくりのお手伝い 夕食	学校着・解散
18時		各農家の家族との団らん	各農家の家族との団らん	
19時	各農家の家族との団らん	各農家での聞き書き(農業の現状、震災に関わること)	各農家での聞き書き(農業の現状、震災に関わること)	
20時				
21時	入浴	入浴	入浴	
22時 ～	就寝:農家民宿 (福島県喜多方市)	就寝:農家民宿 (福島県喜多方市)	就寝:農家民宿 (福島県喜多方市)	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：農家民宿での農業体験(農作物・植付・収穫等)
- (2) 交流：各農家民宿での団らんと聞き書き(農業の現状、震災に関わること)



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		各農家民宿の家族による家事・農業体験の指導	【農山漁村体験の受入先】 NPO法人喜多方市 グリーン・ツーリズム サポートセンター
情報面の支援		喜多方市の地域資源や受入体制等に関するパンフレット、資料の提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		学校のねらいや計画に即した農家民宿先・会場等の手配	
		各農家民宿に関する情報提供(生徒の農家割りのため)	
	喜多方市での緊急連絡時の対応や教員の宿泊先の手配		
	アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮の手配 (各農家民宿への各生徒の配慮事項の周知・確認)		
	各農家民宿での損害賠償責任保険の加入		
活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮		
	喜多方市での緊急連絡体制の設置		
活動後	現地の全費用の一括精算(精算手続きの簡素化)		

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 事前に各農家民宿に関する情報をもらったので、アレルギー等に配慮した農家割りを行うことができた。
- ・ 特に身体的な配慮が必要な生徒の対応の仕方について事前に確認・調整をしてもらえた
- ・ 各農家民宿で本校のねらいを踏まえた会話の内容や聞き書きへの協力をしてもらうことができた。

### 【農山漁村体験の受入先】

NPO法人喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター（福島県喜多方市）

住 所 福島県喜多方市熊倉町大字熊倉字大竹 1364

TEL 0241-24-4488 URL <http://www.kitakata-gt.jp/>

<b>高等学校</b> <b>東京都</b> <b>板橋区</b>	<b>農山漁村</b> <b>長崎県</b> <b>南島原市</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	2泊3日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	職業観（農・漁）、交流

1. 学校名：東京都立板橋高等学校（住宅地区・共学・全校生徒数 810 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・265名（全員参加型）

(2) 期日：平成29年11月7日（火）～11月10日（金）3泊4日

(3) 宿泊先：ホテル1泊、農林漁家民泊（ホームステイ・分泊）2泊

5. ねらい

(1) 民泊、家業体験等を通して、自然の中で学ぶ意義や人とのつながりの大切さを理解するとともに、勤労観、職業観を育む。

(2) 平和学習又は文化的な体験を通して、我が国の歴史を理解し、未来に生かそうとする態度を育てる。

(3) 集団行動、生活を通して、集団で生活することへの責任感を醸成する。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床 朝食	起床 朝食	起床・朝食
7時		ホテル発		各農林漁家民泊発 移動(車)
8時	羽田空港発	<b>【歴史・文化学習】</b> 長崎市内班別自主研修	<b>【生活(家業)体験】</b> 民泊家庭ごとの体験内容 (例) ・農業体験 ・漁業体験 ・郷土料理体験等	離村式
9時	移動(飛行機)			移動(バス)
10時	福岡空港着			<b>【災害学習】</b> みずなし本陣ふかえ 土石流被災家屋保存公園 大野木場砂防みらい館
11時	移動(バス)			移動(バス)
12時			昼食(各農林漁家民泊)	
13時	<b>【平和学習】</b> 平和記念公園 爆心地公園 原爆資料館 被爆者体験講話	移動(バス)	<b>【生活(家業)体験】</b> 民泊家庭ごとの体験内容	太宰府天満宮・昼食 (福岡県太宰府市)
14時				移動(バス)
15時		<b>【生活(家業)体験】</b> 入村式	夕食の手伝い	福岡空港着
16時		移動(車)	夕食	福岡空港発
17時	ホテル着	各農林漁家民泊着 夕食の手伝い・夕食 民泊家庭との団らん 入浴	民泊家庭との団らん	移動(飛行機)
18時	夕食		入浴	羽田空港着・解散
19時	入浴			
20時				
21時～	就寝：ホテル (長崎県長崎市)	就寝：農林漁家民泊 (長崎県南島原市)	就寝：農林漁家民泊 (長崎県南島原市)	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：南島原市の農林漁家での生活（家業）体験（農・漁業体験）
- (2) 交流：南島原市の農林漁家での民泊の家族



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
情報面の支援		南島原市の地域資源・体験・受入体制等に関する情報提供	一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
		南島原市の各受入農家に関する情報提供	
		学校向け説明会の開催	一般社団法人九州観光推進機構
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
		教員による下見の協力	
		農林漁家民泊の手配(食事・宿泊・体験指導等)	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		南島原市での緊急連絡の対応の手配	
	活動中	南島原市での災害発生時の対応の手配	
		アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮の手配	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
	活動後	アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮	
		南島原市での緊急連絡体制の設置	
	南島原市での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)		

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・受入先の手配によって、南島原市の各農林漁家の家業を体験することができた。
- ・受入先では不明点等を丁寧に相談にのってもらえた。
- ・受入先の手配によって、南島原市の方々は生徒達を新鮮に迎え入れてもらった。

### 【農山漁村体験の受入先】

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会（長崎県南島原市）

住 所 長崎県南島原市南有馬町乙 1395 南島原市有馬キリシタン遺産記念館2階

TEL 0957-65-6333 URL <https://himawari-kankou.jp/>



<b>高等学校</b> <b>神奈川県</b> <b>座間市</b>	<b>農山漁村</b> 岩手県田野畑村 青森県5町	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	4泊5日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観(農・林・漁)、交流、その他

1. 学校名：神奈川県立座間総合高等学校（住居地区・共学・全校生徒数 760 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

- (1) 学年・人数：第2学年・229名（全員参加型）
- (2) 期日：平成28年9月25日（日）～9月29日（木）4泊5日
- (3) 宿泊先：ホテル2泊、農家民泊（ホームステイ・分泊）2泊

5. ねらい

- (1) 卒業してからではできない、団体行動による共同体験を通して社会性やコミュニケーション能力を養う。
- (2) 民泊や体験学習を通して現地の人とのふれあいを肌で感じることで、社会に視野を広げ自己のキャリア形成につなげる。
- (3) 被災地の現状を肌で感じることで、防災や復興、そこで生きる現地の人々の暮らしについて学ぶ機会とする。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
6時		起床	起床	起床	起床
7時		朝食	朝食	朝食づくりのお手伝い	朝食
8時		ホテル発	ホテル発	朝食	移動(各農家民泊発)
9時	JR 東京駅発	東日本大震災の被災地での震災学習 ①ボランティアガイドによる被災地案内(被災した高校生の作文の朗読等) ②三陸鉄道震災学習列車(北リアス線) 途中、昼食	岩手県田野畑村での農林業・漁業体験  昼食  移動(バス) 入村式(青森県5町) 移動 各受入農家着	各受入農家での農作業体験  昼食  各受入農家での農作業体験  夕食づくりのお手伝い	離村式(青森県5町)
10時	移動(東北新幹線)				移動(バス)
11時	JR 盛岡駅着				盛岡市着
12時	移動(バス)				盛岡市内での班別自主行動・昼食
13時	安比高原着(岩手県八幡平市)				JR 盛岡駅発
14時	安比高原での自然体験				移動(東北新幹線)
15時		JR 東京駅着・解散			
16時					
17時	ホテル着	ホテル着(被災したホテル)	夕食づくりのお手伝い	夕食	
18時			夕食	夕食	
19時	夕食	夕食	各受入農家での団らん	各受入農家での団らん	
20時					
21時	入浴	入浴	入浴	入浴	
22時～	就寝:ホテル(岩手県八幡平市)	就寝:ホテル(岩手県田野畑村)	就寝:農家民泊(青森県5町)	就寝:農家民泊(青森県5町)	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：安比高原での自然体験
- (2) 職業観：岩手県田野畑村での農林業・漁業体験、青森県5町村の各受入農家での農作業体験
- (3) 交流：震災学習でボランティアガイド等、青森県5町村の各受入農家
- (4) その他：東日本大震災の被災地での震災学習



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		震災学習のボランティアガイドの手配	【農山漁村体験の受入先】 <震災学習、農林業・漁業体験の手配> 体験村・たのはた教育旅行受入協議会
		農林業・漁業体験の指導者の手配	
情報面の支援		地域資源や震災に関するビデオの提供	
		震災学習や農林業・漁業体験に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		学校のねらいや計画に即した提案・手配 (震災学習・ホテル・農林業・漁業体験等)	
		受入先での緊急連絡体制、教員の宿泊先の手配	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮の準備	
		損害賠償責任保険の加入	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導の協力	
		移動先の案内	
		アレルギー・障がい等を抱える各生徒の配慮	
		現地での緊急連絡体制の設置	
活動後	全費用の一括精算(精算手続きの簡素化)		
	文化祭での事前・事後交流への協力		
		<青森県5町の受入農家の手配> 達者村ホームステイ連絡協議会	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・事前学習で提供された現地や震災に関するビデオを視聴することで意識や意欲を高められた。
- ・本校のねらいを踏まえた活動内容を提案・提供してもらえた。
- ・震災現場を実際に観て、被災者の説明を聴くことができた（防災意識が高まった）。

### 【主な農山漁村体験の受入先】

#### 体験村・たのはた教育旅行受入協議会（岩手県田野畑村）

窓口組織 NPO法人体験村・たのはたネットワーク

住所 岩手県田野畑村北山129-10北山崎ビクターセンター内

TEL 0194-37-1211 URL <http://www.tanohata-taiken.jp/>

#### 達者村ホームステイ連絡協議会（青森県南部町）

窓口組織 南部町役場 交流推進課 達者村推進班

住所 青森県三戸郡南部町大字苦米地字下宿23-1

TEL 0178-84-2123 URL <http://www.town.aomori-nanbu.lg.jp/index.cfm/13.html>

<b>高等学校</b> <b>新潟県</b> <b>長岡市</b>	<b>農山漁村</b> <b>長崎県</b> <b>南島原市</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	滞在期間	1泊2日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	職業観（農・漁）、交流

1. 学校名：新潟県立栃尾高等学校（農山漁村地区・共学・全校生徒数 300 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・98名（全員参加型）

(2) 期日：平成29年12月13日（水）～12月16日（土）3泊4日

(3) 宿泊先：ホテル2泊、農林漁家民泊（ホームステイ・分泊）1泊

5. ねらい

(1) 長崎における被爆体験に触れ、平和についての意識を高める。

(2) 長崎の歴史、風土、文化について学ぶ。

(3) 望ましい集団活動を通じて、豊かな人間性や社会性の育成を図る。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時	出発	起床	起床	起床
7時	移動(鉄道)	朝食	朝食	朝食
8時		ホテル発	各農林漁家民泊での家業体験（農・漁業体験）	ホテル発
9時		長崎平和公園 平和セミナー 長崎原爆資料館	昼食の手伝い 昼食	移動(バス)
10時			各農林漁家民泊発	
11時	羽田空港着・発	昼食	移動(自家用車)	福岡空港着・発
12時	移動(飛行機)	移動(船)	離村式・南島原市発	移動(飛行機)
13時		軍艦島の見学	移動(バス)	
14時		移動(船・バス)	ハウステンボスの散策	羽田空港着
15時	長崎空港着	南島原市着・入村式 移動(車) 各農林漁家民泊着	ホテル着	移動(バス)
16時				
17時	長崎市・ホテル着	各農林漁家民泊での家業体験（農・漁業体験） 夕食の手伝い・夕食 民泊の家族との団らん 入浴	夕食	解散
18時	夕食		入浴	
19時	平和講話		就寝：ホテル	
20時	入浴		就寝：ホテル	
21時	就寝：ホテル	就寝：農林漁家民泊	就寝：ホテル	
22時	（長崎県長崎市）	（長崎県南島原市）	（長崎県佐世保市）	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：南島原市の農林漁家での家業体験（農・漁業体験）
- (2) 交流：南島原市の農林漁家の家族



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
情報面の支援		旅行会社を通じた南島原市での受入体制等に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】 一般社団法人 南島原ひまわり観光協会
		・南島原市の地域資源・家業体験等に関する情報	
		・南島原市の各受入農林漁家に関する情報	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校側の相談・要望に対応できる担当者の配置 (旅行会社を通じた対応)	
		南島原市の農林漁家民泊の手配(食事・宿泊・体験指導等)	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		南島原市での緊急時の対応の手配	
		南島原市での災害発生時の対応の手配	
		アレルギー等を抱える各生徒の配慮の手配 (各農林漁家民泊への配慮事項の連絡等)	
	活動中	添乗員等の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		アレルギー等を抱える各生徒の配慮	
		南島原市での緊急連絡体制の設置	
活動後	南島原市での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)		

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・体験活動（民泊等）を通して、島原地方の生活や文化に触れ、視野を広めることができた。
- ・民泊先では家族の一員として受け入れていただき、家業体験や団らんを大切にすることができた。

### 【農山漁村体験の受入先】

一般社団法人 南島原ひまわり観光協会（長崎県南島原市）

住 所 長崎県南島原市南有馬町乙 1395 南島原市有馬キリシタン遺産記念館 2 階

TEL 0957-65-6333

URL <https://himawari-kankou.jp/>

<b>高等学校</b> <b>大阪府</b> <b>堺市</b>	<b>農山村</b> <b>北海道</b> <b>十勝地域</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	2泊3日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観（農）、交流

1. 学校名：大阪府立鳳高等学校（住宅地区・共学・全校生徒数 958 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動、修学旅行

3. 活動名：2年野外活動

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・317名（全員参加型）

(2) 期日：平成30年7月3日（火）～7月6日（金）3泊4日

(3) 宿泊先：農家民泊（ホームステイ・分泊）1泊、ホテル2泊

5. ねらい

北海道の壮大で優美な自然環境の中、様々な自然体験を通してあるがままの自然に触れ、また地域住民との触れ合いを通して自然の素晴らしさや自然環境を守っていくことの大切さを実感する。

また、準備期間を含め重要なクラス活動の一環として仲間づくり、集団づくりの一助とする。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床 朝食	起床・朝食	起床・朝食
7時	関西空港・伊丹空港集合	受入農家での家業体験 (各農家の農作業・家事等)	ホテル発	ホテル発
8時	関西空港・伊丹空港出発		然別湖畔着	移動
9時	移動(飛行機)		アウトドアクッキング	
10時	新千歳空港到着		昼食づくり	小樽市着
11時	昼食		昼食	
12時	移動	移動		
13時		各農家発 移動	自然体験(個別に選択) ・ラフティング ・エアトリップ ・カヌー ・牧場体験等	小樽自主研修
14時	入村式(各受入農家・対面)	離村式		小樽市発
15時	移動 十勝地域の各受入農家着	移動		移動 新千歳空港着・発
16時	受入農家での家業体験 (各農家の農作業・家事等)			移動(飛行機)
17時		ホテル着	ホテル着	伊丹空港・関西空港着
18時	夕食づくり 夕食	夕食	夕食	
19時	受入農家の家族との団らん	入浴	入浴	
20時		クラス別ミーティング	全体レク	
21時	入浴	室長会議	室長会議	
22時 ～	就寝:農家民泊 (北海道十勝地域)	就寝:ホテル (北海道幕別町)	就寝:ホテル (北海道幕別町)	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：アウトドアクッキング、自然体験（ラフティング、エアトリップ、カヌー、牧場体験等）
- (2) 職業観：十勝地域の受入農家での家業体験（各農家の農作業・家事等）
- (3) 交流：十勝地域の受入農家の家族



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		看護師の派遣	【農山漁村体験の受入先】 〈十勝地域受入農家のネットワーク〉 NPO法人食の絆を育む会
情報面の支援		十勝地域の受入農家・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案・調整・手配	
		宿泊学習の計画策定等の協力	
		事前学習への人材派遣	
		十勝地域の受入農家の手配 (食事・宿泊・家業体験の指導等)	
	十勝地域での移手段・看護師の手配		
	荒天時の代替プログラムの用意		
	十勝地域での緊急連絡体制・災害対策の手配		
	受入先による損害賠償責任保険の加入		
	アレルギー・発達障害等を抱える各生徒の配慮の手配		
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
引率教員による指導への協力			
各活動場所の移動・案内			
十勝地域での緊急連絡体制の設置			
活動後	十勝地域での諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)		
	事後学習への人材派遣		

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・学校の相談・要望等に対応できる担当者があり、事前学習・事後学習に人材を派遣してもらえた。
- ・安全・安心な受入体制があり、現地の宿舎と受入団体等との連携が密に行えた。

### 【農山漁村体験の主な受入先】

NPO法人食の絆を育む会（北海道浦幌町）

住 所 北海道十勝郡浦幌町宝町53-26

TEL 015-578-7955 URL <https://www.shokuhug.com/>

<b>高等学校</b> <b>大阪府</b> <b>堺市</b>	<b>農漁村</b> <b>沖縄県</b> <b>宮古島市</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	<b>体験の期間</b> 2泊3日
			<b>受入先の分類</b> 受入地域協議会
			<b>体験の分類</b> 自然、奉仕、職業観(農)、文化芸術、交流

1. 学校名：大阪府立堺工科高等学校（住宅地区・共学・全校生徒数 858 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：平成 29 年度 2 学年修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 2 学年・252 名（全員参加型）

(2) 期日：平成 29 年 9 月 26 日（火）～9 月 29 日（金）3 泊 4 日

(3) 宿泊先：農家民泊（ホームステイ・分泊）2 泊、ホテル 1 泊

5. ねらい

- (1) 離島の生活からその暮らしを体験し、人と協働することの意義や大切さを学び、コミュニケーション力の向上と社会性の育成を図る。
- (2) 豊かな自然環境の中で、様々な体験を通して、新たな自分の発見や友人との人間関係の発展を促す機会を作る。
- (3) 沖縄の歴史や風土について学ぶ。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床	起床	起床
7時		朝食のお手伝い	朝食	朝食
8時		朝食	移動（各農家民泊発） 集合・離島式	集合
9時	伊丹空港発	ビーチクリーニング （砂浜での清掃活動）	宮古島での体験学習 （途中、昼食） ・シュノーケル ・マリン体験 ・半潜水式水中観光船遊覧 ・貝細工体験 ・シーサー作り	ホテル発
10時	移動（飛行機）			東平安名崎の見学 宮古島観光
11時				昼食
12時	那覇空港着・発（昼食）			宮古空港発
13時	移動（飛行機）	各農家民泊での体験 （各受入家庭での家事・農作業等）	移動（飛行機）	移動（飛行機）
14時	宮古空港着			那覇空港着
15時	入島式	夕食のお手伝い	ホテル着	那覇空港発
16時	移動（各農家民泊・分散）			
17時	各農家民泊での体験 （各受入家庭での家事・農作業等）	夕食	全体レクリエーション	移動（飛行機）
18時	夕食のお手伝い			
19時	夕食	民泊家庭との団らん	入浴	伊丹空港着・解散
20時	民泊家庭との団らん			
21時	入浴	入浴		
22時～	就寝：農家民泊 （沖縄県宮古島市）	就寝：農家民泊 （沖縄県宮古島市）	就寝（ホテル）	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：宮古島の海体験（シュノーケル、半潜水式水中観光船の遊覧等）
- (2) 奉仕：ビーチクリーニング（砂浜での清掃活動（右画））
- (3) 職業観：農家民泊先での家業体験（農作業等）
- (4) 文化芸術：貝細工体験、シーサー作り
- (5) 交流：農家民泊先の家族との団らん



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
受入先による農山漁村体験の支援	学習前	学校側の相談・要望等に対応できる担当者の配置 （旅行会社を通じて連絡・調整）	【農山漁村体験の受入先】 〈農家民泊等の手配〉 合同会社 宮古島さるかの里
		農家民泊先・会場（入島式・離島式）等の手配	
		ビーチクリーニングの実施準備（関係者の調整、備品の用意等）	
		現地での緊急連絡体制、災害対策、移動手段の手配	
	アレルギー等を抱える各生徒の身体面の配慮の手配		
	受入先による損害賠償責任保険の加入		
	学習中	学校側の相談・要望等に対応できる担当者の配置 （旅行会社を通じて連絡・調整）	
		現地の移動・案内	
アレルギー等を抱える各生徒の身体面の配慮			
現地での緊急連絡体制の設置			

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・宮古島の自然や文化、生活などが体験できた。
- ・農家民泊では農作業や家事の手伝いなどの複数の生活体験を行えた。
- ・農家民泊では各民泊の方々が指導してもらうことができた（教員の負担が少なかった）。

### 【主な農山漁村体験の受入先】

合同会社 宮古島さるかの里（沖縄県宮古島市）

住 所 沖縄県宮古島市城辺字友利 149-18

TEL 0980-77-7691 URL <http://www.ggt-sarukanokai.jp/>



<b>高等学校</b> <b>兵庫県</b> <b>丹波市</b>	<b>農山村</b> <b>長野県</b> 川上村・南牧村	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	滞在期間	7泊8日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（農）

1. 学校名：兵庫県立氷上高等学校（農山村地区・共学・全校生徒数 438 名）

2. 宿泊体験の位置付け：就業体験実習（農業実習）

3. 活動名：平成 29 年度長野県就業体験実習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第 2 学年・68 名（全員参加型）

(2) 期日

①第 1 班：平成 29 年 7 月 21 日（月）～7 月 28 日（月）7 泊 8 日

②第 2 班：平成 29 年 8 月 3 日（木）～8 月 10 日（木）7 泊 8 日

(3) 宿泊先：受入農家（ホームステイ・分泊）8 泊

5. ねらい

(1) 学習の機会を、大自然に恵まれ野菜栽培の先進地である長野県の大規模経営農家に求め、職業に対する意欲と関心を高めるとともに、地域の発展に貢献できる人材を育成する。

(2) 自ら考え、汗して働くことを通して、勤労の貴さを体験し、今後生きていくための強い意志と忍耐力を養う。

(3) 受入農家で、農家の人と家庭生活を共にすることにより、社会と協調していくことの大切さ、人間関係の尊さを学び、強調と自立の精神を養う。

(4) これらのことを通して本校の教訓である「開拓者精神」を考え、学ぶ機会とする。

	1 日目	2～7 日目の活動例 1	2～7 日目の活動例 2	2～7 日目の活動例 3	8 日目
4 時		起床・朝食	起床		起床
5 時		レタス・ハクサイの収穫	サニーレタス収穫	起床	出荷箱作り
6 時			朝食	朝食	播種
7 時	集合				
8 時	出発		イチゴの収穫	ポット洗い (休憩 30 分)	受入農家発・移動
9 時		休憩			
10 時	移動	出荷箱作り	集荷場		移動
11 時			サニーレタスの残渣片付け	昼食	
12 時	昼食	昼食	昼食		昼食
13 時	移動	出荷箱作り	サニーレタスの残渣片付け	イチゴ摘花 ジャム作り ポット洗い ポット土入れ	移動
14 時					
15 時	板橋集荷場見学			ポット土入れ	
16 時	受入式 ・1 班：川上村中央公民館 ・2 班：南牧村野辺山基幹 集落センター				
17 時	各受入農家着 夕食 入浴 就寝：受入農家 (長野県川上村・南牧村)	終了			学校着
18 時		入浴・洗濯 夕食・自由時間 就寝：受入農家 (長野県川上村・南牧村)	入浴	入浴	
19 時			夕食	夕食	
20 時			就寝：受入農家 (長野県川上村・南牧村)	就寝：受入農家 (長野県川上村・南牧村)	
21 時					

※当該活動において授業として位置付けた教科等は総合実習と特別活動です。

## 6. 実施した農山漁村体験

職業観：受入農家での農業実習（レタス・ハクサイの収穫、出荷箱作り、サニーレタス収穫、イチゴの収穫、サニーレタス残渣片付け、ポット土入れ、ポット洗い、イチゴ摘花、ジャム作り等）



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		受入農家の選定	<b>【農山漁村体験の受入先】</b> 長野県農業経営者協会 南佐久支部  長野県佐久農業改良普及センター 小海支所  〈その他の支援者〉 川上村役場 南牧村役場 長野県農業改良普及センター 等
経費的支援		宿泊費等の負担（受入農家による善意も含む）	
情報面の支援		宿泊学習の資料・教材の提供	
		受入農家をはじめとする宿泊活動に関する各種の情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		地域資源・体験メニュー・受入体制等に関する情報提供	
		教員による下見の協力	
		宿泊学習の計画策定等の協力	
		受入農家の手配（食事・宿泊・実習指導等）	
		地域内での移動手段・会場等の手配	
		学校のねらいに応じたプログラムの用意	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮の手配	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
引率教員による指導への協力			
各活動場所の移動・案内			
アレルギー・発達障がい等を抱える各生徒の配慮			
現地での緊急連絡体制の設置			
	受入農家による生活面・農業実習の指導		
活動後		受入農家と各生徒との連絡（受入農家と生徒との結びつき）	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 42年間にわたる継続実施を通じて培われた経験を踏まえて、様々なご協力をいただいている。
- ・ 農業や職業に対する関心や意欲が高められ、協調と自立の精神を養うことができる。
- ・ 受入農家といっしょに過ごす中でコミュニケーション能力が高められる。

### 【主な農山漁村体験の受入先】

長野県農業経営者協会南佐久支部

長野県佐久農業改良普及センター小海支所（長野県小海町）

<b>高等学校</b> <b>奈良県</b> <b>桜井市</b>	<b>農漁村</b> <b>沖縄県</b> <b>宮古島市</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観（農）、文化芸術、交流、その他

1. 学校名：関西中央高等学校（住宅地区・共学・全校生徒数 301 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：2年修学旅行

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・80名（全員参加型）

(2) 期日：平成29年11月19日（日）～11月22日（水）3泊4日

(3) 宿泊先：農家民泊（ホームステイ・分泊）2泊、ホテル1泊

5. ねらい

(1) 沖縄・宮古島に広がる美しい自然に触れることで、自然保護の精神と豊かな情操を育む。

(2) 社会を担う一員としての自覚を持ち、自立・貢献できる資質、能力・精神を養う。

(3) 民泊・農業体験等を通して、地元につながる文化や伝統・島の人々の心に触れることで、人と人とのふれあいの大切さを学ぶ。

(4) 日常生活とは異なった環境のもとで視野を広げ、自己を見つめる機会とする。

(5) 集団生活を通して、集団の一人として規律を守り、協調の精神を培う。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床・朝食のお手伝い	起床・朝食	起床
7時		朝食	移動（各民泊発）	朝食
8時		各民泊での午前の体験 （各家庭の家事・農作業等）	集合・離島式	集合
9時	伊丹空港発	ハンセン病歴史資料館人権啓発交流センターでの学習 （各民泊による随時訪問）	選択別体験 （班単位、午前・午後）	ホテル発
10時	移動（飛行機）		①ビーチダイビング	クルーズ船による宮古島の周遊
11時	那覇空港着・発（昼食）	昼食のお手伝い・昼食	②マリン体験	昼食
12時	移動（飛行機）		③釣り体験	買い物
13時	宮古空港着	各民泊での午後の体験 （各家庭の家事・農作業等）	④文化体験（貝細工、シーサー作り、民具作り等）	宮古空港発
14時			※①～④の組み合わせによる選択	移動（飛行機）
15時	入島式		途中、昼食（ホテル）	那覇空港着
16時	移動（各民泊先へ）	夕食のお手伝い		那覇空港着
17時	各民泊での夕食のお手伝い	夕食	ホテル着	那覇空港発
18時	夕食	夕食	夕食	移動（飛行機）
19時	民泊家庭との団らん	民泊家庭との団らん （戦争についてのお話等）	全体レクリエーション	伊丹空港着・解散
20時	入浴	入浴	入浴	
21時				
22時～	就寝（農家民泊）	就寝（農家民泊）	就寝（ホテル）	

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：選択別体験でのマリン体験（シュノーケル等）・釣り体験
- (2) 職業観：農家民泊先での農作業等
- (3) 文化芸術：選択別体験での貝細工体験・シーサー作り・民具作り等
- (4) 交流：農家民泊先の家族との食事づくり・団らん（戦争のお話を含む）等
- (5) その他：ハンセン病歴史資料館人権啓発交流センターでの学習



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		ハンセン病歴史資料館人権啓発交流センター職員による説明	ハンセン病歴史資料館 人権啓発交流センター
情報面の支援		ハンセン病歴史資料館に関する資料の提供	国立ハンセン病資料館
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校側(旅行会社を含む)の相談・要望に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 〈農家民泊等の手配〉 合同会社 宮古島さるかの里
		宮古島の地域資源・体験メニュー・受入体制等に関する情報提供	
		学校のねらいや予算額に応じた現地活動の提案	
		学校による宿泊学習の計画策定の協力	
		農家民泊先・会場・現地の指導者等の手配	
		学校のねらいや荒天に応じた現地プログラムの用意	
		現地での緊急連絡体制、災害発生時対策、移動手段の手配	
	活動中	アレルギー・障がい・発達障がい等を抱える各生徒の配慮の手配 (農家民泊先への各生徒の配慮事項の伝達)	
		学校側(旅行会社を含む)の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導の協力(現地の人々によるサポート等)	
		農家民泊先による移動・案内(ハンセン病歴史資料館の案内等)	
		アレルギー・障がい・発達障がい等を抱える各生徒の配慮	
		農家民泊先や関係機関との緊急連絡体制の設置	
		活動後	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 宮古島の農家民泊での自然の中での生活は日常ではできない貴重な実体験となった。
  - ： ゆったりとした時間、温かな人たちとの関わり、自主的な活動を通して“心の豊かさ”の確認
  - ： 好評だった生徒と農家で一緒につくった家庭料理
- ・ ハンセン病資料館人権啓発交流センターでの学習では1班に1人が付いて詳細に説明してくれた。
- ・ 選択別体験では1班5～6名による実施が困難なプログラムも多く取り入れてくれた。

### 【主な農山漁村体験の受入先】

合同会社 宮古島さるかの里（沖縄県宮古島市）

住 所 沖縄県宮古島市城辺字友利 149-18

TEL 0980-77-7691 URL <http://www.ggt-sarukanokai.jp/>

<b>高等学校</b> <b>宮崎県</b> <b>都城市</b>	<b>農山漁村</b> <b>群馬県</b> <b>長野原町</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	1泊2日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	自然

1. 学校名：宮崎県立都城商業高等学校（住宅地区・共学・全校生徒数 484 名）

2. 宿泊体験の位置付け：修学旅行

3. 活動名：修学旅行（スキー教室等）

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第2学年・159名（全員参加型）

（2）期日：平成29年12月12日（火）～12月16日（土）4泊5日

（3）宿泊先：ホテル4泊

## 5. ねらい

集団行動をとおして、公衆道徳・集団行動の中で自己の在り方等を体得するとともに、本県で体験する機会の少ないスキー教室を経験することにより、自己の忍耐と自然に関する興味・関心を培い、人間としての豊かな感性の育成を図る。

また、生徒相互間の友情を深めるとともに教師と生徒の信頼関係を密にする場を提供し、よりよい人間関係の構築を目指すものとする。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
7時		起床 朝食 準備	起床 朝食 準備	起床・朝食	起床 朝食 準備	
8時	学校集合・発 移動			ホテル発  東京都内の班別自主 研修(東京ディズニー リゾート含む)  昼食・夕食(各自)  ホテル着・入浴 就寝：ホテル (千葉県浦安市)	ホテル発 移動(バス) コース別見学 ①日本科学未来館 ②TEPIA 先進技術館	
9時	宮崎空港発	開校式 スキー講習① (群馬県長野原町)	スキー講習③ (群馬県長野原町) 閉校式		昼食	移動(バス)
10時	移動(飛行機)					
11時						
12時	羽田空港着 移動	昼食	着替え・昼食		東京都内の班別自主 研修(東京ディズニー リゾート含む)	昼食
13時	横浜中華街での昼食 (神奈川県横浜市)	スキー講習② (群馬県長野原町)	ホテル発  移動(バス)		移動(バス)	移動(バス)
14時						
15時	移動(バス)	ホテル着 着替え等	浅草仲見世の見学・ 夕食(東京都台東区) 移動(バス)		移動(バス)	移動(飛行機)
16時						
17時						
18時						
19時	ホテル着	夕食	ホテル着	移動(飛行機)	宮崎空港着 移動 学校着・解散	
20時	夕食	入浴	入浴			
21時	入浴					
22時 ～	就寝：ホテル (群馬県長野原町)	就寝：ホテル (群馬県長野原町)	就寝：ホテル (千葉県浦安市)			就寝：ホテル (千葉県浦安市)

## 6. 実施した農山漁村体験

自然：スキー教室



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		スキー教室の指導者の確保	【農山漁村体験の支援先】 プレジデント リゾート軽井沢
受入先による農山漁村体験の支援	学習前	学校側（旅行会社を含む）の要望に対応できる担当者の配置	
		学校のねらいや予算・時間に応じた活動内容の調整	
		スキー教室に必要な道具・装備の用意	
		スキー教室の指導者の手配	
	学習中	スキー教室の指導の実践 （各生徒の状況に応じた指導）	
スキー場での緊急連絡体制の設置			

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・旅行会社を通して本校の修学旅行の目的・日程に合わせて調整することができた。
- ・スキー教室では各生徒に応じた指導をしてもらうことができた。

### 【農山漁村体験の受入先】

プレジデントリゾート軽井沢（スキー場：軽井沢スノーパーク）

住 所 群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢 2032-16

TEL 0279-84-1227

URL <https://www.presidentresort.jp/>

<b>高等学校 鹿児島県 鹿屋市</b>	<b>農山漁村 鹿児島県 5市3町</b>	<b>農山漁村 体験活動 の要点</b>	体験の期間	7泊8日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（農）

1. 学校名：鹿児島県立鹿屋農業高等学校（農山漁村地区・共学・全校生徒数 458 名）

2. 宿泊体験の位置付け：インターンシップ

3. 活動名：平成 29 年度農家委託実習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 2 学年・64 名（全員参加型）

（2）期日：平成 29 年 10 月 13 日（金）～10 月 20 日（金）7 泊 8 日

（3）宿泊先：受入農家（ホームステイ・分泊）7 泊

5. ねらい

（1）科目「総合実習」の一環として、専門科目の実験・実習などの学習成果をもとに、地元優良農家において体験学習をすることで、農業に関する理解を深めるとともに豊かな心の醸成に努める。

（2）農家での宿泊実習を通して自宅とは違った生活を体験することにより、多角的な考え方が出来るようになるとともに、将来の進路決定の指針とする。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目						
6時		起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床						
7時		朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食						
8時		受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】					
9時														
10時														
11時														
12時		昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食						
13時	開始式	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	終了式						
14時														
15時	移動							受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	受入農家実習 【総合実習】	
16時	受入農家実習 【総合実習】													
17時								休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩	
18時														
19時	夕食							夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
20時	談話・休憩							談話・休憩	談話・休憩	談話・休憩	談話・休憩	談話・休憩	談話・休憩	
21時	日誌記入	日誌記入	日誌記入	日誌記入	日誌記入	日誌記入	日誌記入							
22時 ～	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)	就寝:受入農家 (鹿児島県 大隅地区)						

※実習日程については各受入農家の段取り等にあわせて設定しました（休日等の取扱や視察研修等も含む）。

※【 】内は当該活動を授業として位置付けた教科等を明記しています。

## 6. 実施した農山漁村体験

職業観：大隅地区の優良農家での体験学習



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		受入農家実習等の指導	鹿児島県大隅地区・薩摩地区の優良農家 38 戸
		指導補助員の情報提供・手配	鹿児島県大隅地域振興局農林水産部 鹿児島県曾於畑地かんがい農業推進センター
経済的支援		農業後継者育成対策事業の活用	農業後継者育成対策協議会
情報面の支援		大隅地区の優良農家や会場等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 〈実施協力〉 鹿児島県大隅地域振興局農林水産部 鹿児島県曾於畑地かんがい農業推進センター  〈受入農家(実習指導等)〉 鹿児島県大隅地区・薩摩地区の優良農家 38 戸
		巡回指導計画の立案	
	活動中	引率教員の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		引率教員による巡回指導の協力	
		各受入農家等への案内	
		開始式・終了式での会場借用(肝属地区・曾於地区)	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・より実践的な受入農家先でのより実践的な活動の中で、学校で学習している栽培・飼育に関する基礎・基本を確認・応用し、学習成果を更に深めることができた。
- ・受入農家との会話や情報交換を通して、農業経営に関するより実践的な経営感覚を醸成することができた。
- ・地域行事やコミュニティーにふれ、地域理解を深めるとともに豊かな心の醸成につながられた。
- ・受入農家との将来の進路に関する相談の機会を通して、社会人としての在り方を考えるとともに、将来の就農意欲の向上が認められ、農業大学校進学など就農への具体的進路選択の一助となった。

### 【農山漁村体験の受入先】

〈実施協力〉

鹿児島県大隅地域振興局農林水産部(鹿児島県鹿屋市)

鹿児島県曾於畑地かんがい農業推進センター(鹿児島県曾於市)

〈受入農家(実習指導等)〉

鹿児島県大隅地区(4市3町)及び薩摩地区(1市内)の優良農家 38 戸



<b>高等学校</b> <b>栃木県</b> <b>那須塩原市</b>	<b>農山村</b> <b>北海道</b> <b>中標津町</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	12泊13日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（畜）、交流

1. 学校名：栃木県立那須拓陽高等学校（住宅地区・共学・全校生徒数 704 名）

2. 宿泊体験の位置付け：農業実習

3. 活動名：北海道農業実習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第2学年・9名（募集参加型）

(2) 期日：平成29年7月6日（木）～7月20日（木）14泊15日

(3) 宿泊先：受入農家（ホームステイ・分泊）12泊、ホテル1泊、船内1泊

5. ねらい

(1) フロンティア精神を高め、創造性豊かな知識と実践力のある人間性を養う。

(2) 経営技術のパイロット的地帯の農家で、酪農技術の習得と実習生活を通じて、勤労意欲と忍耐力を養い、遠隔地での得がたい経験と精神力を養う。

(3) 団体生活を通じて、規律、共同の精神を高め、公的資質の向上を図り、自主的、自立的な行動ができるような態度を養う。

	1日目	2～12日目	13日目	14日目	15日目		
6時	学校集合・発	起床 朝食	起床 朝食	起床 朝食	起床 朝食（フェリー）		
7時			各受入農家での実習				
8時	移動(バス)		各受入農家での実習 (午前)	移動(各受入農家発)	ホテル発	移動(フェリー)	
9時					移動(バス)		
10時	羽田空港着			JA計根別集合・出発			仙台港着
11時				移動(バス)	富良野・旭川観光 ・旭山動物園		移動(バス)
12時	羽田空港発		昼食	道東地域の観光 ・摩周湖 ・硫黄山 ・屈斜路湖(昼食) ・美幌峠 ・銀河流星の滝	・ファーム富田		
13時	中標津空港着				途中、昼食		学校着・解散
14時	JA計根別着			各受入農家での実習 (午後)			
15時	移動(各受入農家)						
16時	各受入農家での実習						
17時	夕食	夕食	層雲峡温泉・ホテル着	苫小牧港着			
18時	受入農家との団らん	受入農家との団らん (途中、JA計根別による レクリエーションの開催)	夕食	夕食(船内)			
19時	入浴		入浴	苫小牧港発			
20時		入浴		移動・就寝(フェリー)			
21時 ～	就寝:受入農家 (北海道中標津町)	就寝:受入農家 (北海道中標津町)	就寝:ホテル (北海道上川町)				

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 職業観：酪農家の業務全般体験（各受入農家での実習）
- (2) 交流：各受入農家の家族



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		受入農家の手配	【農山漁村体験の受入先】 J A 計根別
経費的支援		実習中のレクリエーションの費用	
情報面の支援		受入農家・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の手配	
		受入農家(宿泊・食事・実習の内容・用具等)の手配	
		現地での移動手段の手配	
		受入先による損害賠償責任保険の加入	
		アレルギー等を抱える各生徒の配慮の手配	
活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置		
	引率教員による指導への協力		
	各活動場所の移動・案内		
	アレルギー等を抱える各生徒の配慮		
	現地での緊急連絡体制の設置		

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・北海道の酪農家での作業を通じて農業に係る専門的知識を修得できた。
- ・受入農家等との交流を通じてコミュニケーション能力の育成を図ることができた。
- ・訪問先の食文化や風習等を学習することができた（受入農家によって様々な食事スタイルがあるため）。

### 【農山漁村体験の受入先】

#### J A 計根別（北海道中標津町）

住 所 北海道標津郡中標津町計根別本通東3-17-1

TEL 0153-78-2111 URL <http://www.ja-kenebetsu.com/>

<b>高等学校</b> <b>兵庫県</b> <b>宍粟市</b>	<b>農山村</b> <b>兵庫県</b> <b>佐用町</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	4泊5日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	自然、職業観

1. 学校名：兵庫県立山崎高等学校（農山村地区・共学・全校生徒数 663 名）

2. 宿泊体験の位置付け：実習

3. 活動名：森林環境科学科による演習林実習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第3学年・37名（全員参加型）

(2) 期日：平成30年6月18日（月）～6月22日（金）4泊5日

(3) 宿泊先：演習林宿舎4泊

5. ねらい

(1) 教育課程に基づき、教科内での学習を現場で体験させ、幅広い知識と技術を身に付ける。

(2) 共同生活を通して、規律ある生活を行い、責任感や協調性を養う。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
6時		起床・点呼・清掃	起床・清掃	起床・清掃	起床・清掃
7時		朝食	朝食	朝食	朝食
8時	集合・出発 移動(マイクロバス)	実習 ・除伐	実習 ・登山道修理	実習 ・倒木処理 ・鹿柵修繕	実習 ・実習道具片付け ・宿舎掃除・整理
9時					
10時					
11時	宿舎掃除				
12時	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13時	実習 ・進入路修繕 ・草刈り ・ワイヤーロープの修繕講習	実習 ・除伐	実習 ・倒木処理 ・鹿柵修繕	実習 ・登山道修理	移動(マイクロバス)
14時					
15時					
16時					
17時	掃除・夕食準備・夕食	掃除・夕食準備・夕食	掃除・夕食準備・夕食	掃除・夕食準備・夕食	
18時	学習	学習	学習	学習	
19時					
20時					
21時	入浴	入浴	入浴	入浴	
22時～	就寝（演習林宿舎）	就寝（演習林宿舎）	就寝（演習林宿舎）	就寝（演習林宿舎）	

### 【授業として位置付けた教科等】

- ・ 30 時間（6 時間×5 日間）を以下の科目に設定
- ・ A B C は類型をあらわす。  
A：森林環境コース  
B：林産加工コース  
C：森林進学コース
- ・ 夜の学習時間・清掃等の時間は別途、時間外総合実習で設定（1 日 3 時間×4 日間）

科目(単位)	A	B	C
3 年総合実習(3)	4	6	8
3 年課題研究(3)	5	5	11
3 年 A 森林科学(5)	11		
3 年 A 森林環境(2)	4		
3 年 A 森林経営(2)	4		
3 年 B 林産物利用(5)		11	
3 年 B 森林科学(2)		4	
3 年 B 木工デザイン(2)		4	
3 年 C 森林科学(3)			11
合計	30 時間		

## 6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：樹木の観察
- (2) 職業観：林業職の体験実習



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

	学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
経費的支援	演習林及び演習林宿舍の管理運営に係る予算化	兵庫県教育委員会
受入先による農山漁村体験の支援	教育課程の位置付け等に係る指導助言	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 本活動の計画作成に際して、教育課程の位置付け等に係る適切な指導・助言を得られる。
- ・ 本校が演習林・演習林宿舍の活用を任せてもらえるので、教員による主体的な実習を行いつつ、生徒の基本的な生活習慣や協調性を養う活動を行うことができる。

### 【農山漁村体験の受入先】

兵庫県立山崎高等学校 演習林宿舍

住 所 兵庫県佐用郡佐用町船越 演習林

<b>高等学校</b> <b>奈良県</b> <b>山添村</b>	<b>農山村</b> <b>鹿児島県</b> 高鍋町・曾於市	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	6泊7日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（農）

1. 学校名：奈良県立山辺高等学校山添分校（農山村地区・共学・全校生徒数 37 名）

2. 宿泊体験の位置付け・活動名：県外実習及び修学旅行

3. 学年・人数・期日・宿泊先

- (1) 学年・人数：第3学年・7名（全員参加型）
- (2) 期日：平成30年5月12日（土）～5月20日（日）8泊9日
- (3) 宿泊先：宮崎県立農業大学校農業総合研修センター3泊、たからべ森の学校1泊、農家（分泊）2泊

4. ねらい

- (1) 農業及び家庭の実習を通じ、自己の体力を高め、精神力を集中させるとともに、本校教育方針である「誠実でどんな困難にもくじけない実践力のある人間」を育成し、さらに幅広い考え方や豊富な感性を身につけます。
- (2) 先進農業での実践的実習を通して、自然の営みを実感し、広い視野にたつて、「環境問題」「食糧危機」等について考え、「農業」が大きな役割を果たしていることを体験します。
- (3) 家庭生活の衣食住をはじめ、家族関係や家庭教育等の実態について体験し、家庭生活の諸問題について考え、将来自分が家庭生活を営むにあたっての実践力を高めます。
- (4) 遠隔地から故郷を顧みることにより、郷土に対する愛郷心を培い、故郷のよさを深く認識させます。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
5時	集合・結団式					
6時	移動 (バス・電車・飛行機)	起床	起床	起床	起床	
7時		ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	
8時		農業実習 (長ネギの植え付け)	キャベツ農家での 実習	農大閉校式	そば打ち体験	
9時				移動(バス)		
10時	買物					
11時				移動(バス)		
12時	昼食	昼食	昼食	昼食	閉校式	
13時	農大開校式	農業実習(トマトの収穫と出荷作業、大学校内、口蹄疫メモリアルホールの見学)	キャベツ農家での 実習	開校式	対面式	
14時	宮崎県立農業大学校での農業実習(苗の植え付け、畝作り等)			農業実習(そらまめの収穫、夕食準備)	各受入農家での実習開始	
15時						
16時						
17時	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	
18時	実習日誌記入	実習日誌記入	実習日誌記入	実習日誌記入		
19時						
20時						
21時～	就寝:宮崎県立農業大学校(宮崎県高鍋町)	就寝:宮崎県立農業大学校(宮崎県高鍋町)	就寝:宮崎県立農業大学校(宮崎県高鍋町)	就寝:たからべ森の学校(鹿児島県曾於市)	就寝:受入農家(鹿児島県曾於市)	
	6日目	7日目	8日目	9日目		
6時	各受入農家での実習 随時、朝食・昼食	起床	修学旅行	修学旅行		
7時		起床				
8時		各受入農家で実習				
9時		随時、朝食・昼食				
10時						
11時		各受入農家発				
12時		閉校式				
13時						
14時						
15時						
16時						
17時	作業終了	以降、修学旅行としての活動				
18時	夕食					
19時	入浴					
20時						
21時～	就寝:受入農家(鹿児島県曾於市)					

## 5. 実施した農山漁村体験

職業観：宮崎県立農業大学校にて栽培管理

（長ネギの植え付け、トマトの収穫と出荷作業、キャベツ農家での実習等）

：鹿児島県曾於市の各受入農家等での農作業体験



## 6. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
経費的支援		バス代等の負担	山添村教育委員会
情報面の支援		曾於市の受入農家等に関する情報提供	曾於市役所商工観光課
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	教員による下見の協力	【農山漁村体験の受入先】 〈曾於市の受入農家の手配等〉 曾於市役所商工観光課
		曾於市での看護師・保健師の手配	
		学校のねらいに応じたプログラムの用意	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・本校の県外実習のねらいに即した活動を行うことができた（先進農業での実践的実習）。  
※単なる農業体験ではないので、受入先の選択の際、学校外の組織の協力が不可欠である。
- ・農家での宿泊をとまなう実習でもあるが、信頼できる農家を紹介してもらえた。
- ・生徒の安心・安全が確保することができた。

### 【主な農山漁村体験の受入先】

曾於市役所商工観光課（鹿児島県曾於市）

住 所 鹿児島県曾於市末吉町二之方 1980 番地

TEL 0986-76-8282

URL <https://www.city.soo.kagoshima.jp/>

<b>高等学校</b> <b>奈良県</b> <b>五條市</b>	<b>農山村</b> <b>北海道</b> <b>余市町</b>	<b>農山漁村</b> <b>体験活動</b> <b>の要点</b>	体験の期間	11泊12日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	職業観（農）、交流

1. 学校名：五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校（農山村地区・共学・全校生徒数 39 名）

2. 宿泊体験の位置付け：農業就労体験

3. 活動名：北海道現場実習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

(1) 学年・人数：第3～4学年・8名（全員参加型）

(2) 期日：平成30年7月2日（月）～7月14日（土）12泊13日

(3) 宿泊先：受入農家（ホームステイ・分泊）11泊

5. ねらい

(1) これまでの学習成果を活かし、北海道の大規模経営農家における農業に対する取り組みや考え方・技術等、農業経営の実際を経験させる。また、自分の家とは違った家庭生活に触れ衣食住をはじめとする家族関係や家庭教育のあり方等を学ぶことも大きな目的とする。

(2) この体験学習をもとに生徒は豊かな知識と広い視野にたった農業および農家の生活に関する新たな考え方を習得し、将来自分自身が家庭生活を営むのに必要な知識や技能、実践力を養うことを願うものである。

(3) この実習を通して自己の体力や精神力を鍛え、他郷を知ること視野を広げ生きる力を養うことを期待する。

	1日目	2～11日目	12日目	13日目	
6時		起床	起床		
7時	五条駅集合 出発式	各受入農家での実習  <果樹農家> リンゴの摘果・袋かけ、サクランボの収穫・選果・荷造り、ブドウの整枝・ジベレリン処理、ハウス野菜の収穫など  <野菜農家> トマトのわき芽取り・収穫・荷造り等  ※家庭科の生徒は家事全般の手伝いを 含む  随時、朝食・昼食  実習終了  夕食 団らん 入浴  就寝：受入農家 （北海道余市町）	朝食	起床・朝食	
8時	移動（スクールバス・飛行機・JR）		受入農家発・移動	ホテル発・移動	
9時			離町式	札幌駅発	
10時			余市駅発・移動	移動（JR・飛行機・スクールバス）	
11時			昼食		小樽市内観光
12時					
13時			札幌駅着		五条駅着 解散式
14時			余市駅着		
15時			余市町内の観光	ホテル着	
16時	入町式 移動		夕食		
17時	各受入農家着	入浴			
18時	夕食	就寝：ホテル （北海道札幌市）			
19時	団らん				
20時	入浴				
21時～	就寝：受入農家 （北海道余市町）				

## 6. 実施した農山漁村体験

### (1) 職業観：各受入農家での実習

(リンゴの摘果・袋かけ、サクランボの収穫・選果・荷造り、ブドウの整枝・ジベレリン処理、ハウス野菜の収穫、トマトのわき芽取り・収穫・荷造り等)

### (2) 交流：各受入農家との交流



## 7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
情報面の支援		受入農家先に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】 余市町役場経済部農林水産課
受入先による 農山漁村体験 の支援	活動前	受入農家の手配(食事・宿泊・実習指導等)	
		余市町での会場・地域内移動等の手配	
		学校のねらいに応じたプログラムの用意	
	活動後	生産物等の送付	

### 【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・各生徒に応じた配慮を行ってもらうことができた。
- ・受入農家で寝食を共にし、家事・炊事もこなしていく中で、家庭のありがたみを感じる事ができた。

### 【農山漁村体験の受入先】

余市町役場経済部農林水産課（北海道余市町）

住 所 北海道余市郡余市町朝日町26番地

TEL 0135-21-2111

URL <https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>